

※各問の出典の記入は自由とする。

問一 枠内の漢詩を、楷書か行書で調和よく書きなさい。(形式は縦・横自由)

春夜喜雨
杜甫

好雨知時節
當春之發生
隨風潛入夜
潤物細無聲
野徑雲俱黑
江船火獨明
曉看紅濕處
花重錦官城

春夜雨を喜ぶ
杜甫

好雨 時節を知り
春に当りて 乃ち發生す
風に隨いて 潜かに夜に入り
物を潤して 細かにして声無し
野徑 雲は俱に黒く
江船 火は独り明かなり
曉には紅の湿れる処を看れば
花は錦官城に重からん

問二 次の漢詩の書き下し文を、原文のまま行書で調和よく書きなさい。

(ふりがなは書かないこと) (形式は縦・横自由)

春望
杜甫

国破れて山河在り
城春にして草木深し
時に感じては花にも涙を濺ぎ
別れを恨んでは鳥にも心を驚かす
烽火 三月に連らなり
家書 万金に抵る
白頭 搔けば更に短かく
渾べて簪に勝えざらんと欲す

問三 次の短歌を、調和よく短冊の形式に散らし書きしなさい。漢字は仮名に変えてもよい。

(連綿や変体仮名をいくつか使いました)

麻の葉のしげみの蔭に散りのこる花は真白きくちなしの花
(松村英一の歌)

問四 次の字句を、筆・ペンを使って、楷書と行書で書きなさい。

御祝	御霊前	御見舞
御礼	御祝儀	御中元
命名	御歳暮	記念品